

かどがわ

議会だより

May
2023

7

No.175

希望のえがお

- ・ 令和5年度6月補正予算 ……3P
- ・ 一般質問 10人が登壇 ……4P
- ・ 常任委員会年間活動計画 ……14P

令和5年度6月補正予算 各会計とも全員賛成、可決

会計	補正予算額	補正後の予算額
一般会計(第3号)	3億1,596万1千円	93億515万6千円
介護保険事業特別会計	100万円	17億2,692万1千円
簡易水道事業特別会計	19万7千円	1,626万5千円
水道事業会計 収益的収入	27万5千円	3億5,224万7千円
水道事業会計 収益的支出	27万5千円	3億1,976万5千円
水道事業会計 資本的支出	532万8千円	2億4,926万2千円

一般会計補正予算(歳出)の主なもの

住民税非課税世帯等支援(1世帯3万円)		8,504万円
水道料金及び簡易水道料金減額(基本料金5ヵ月分)		5,567万円
プレミアム門川元気振興券		4,093万円
畜産業再生飼料等価格高騰緊急対策		1,500万円
地域活性化映画製作等支援事業		2,075万円
町単独土地改良事業	1,285万円	治山林道事業 1,245万円
森林環境譲与税事業	743万円	有害鳥獣駆除事業 400万円
自治公民館活動に係るコミュニティ助成事業 (放送設備改修助成 下納屋地区・中山地区)		500万円

条例の改正・制定

門川町防災会議条例の一部を改正する条例

門川町防災会議条例により、門川町防災会議の委員の定数を15人と定めていたが、幅広い関係機関の代表者により審議していくため、定数を30人以内とする条例の一部改正を行うもの。

(全員賛成・可決)

門川町国民健康保険条例の一部を改正する条例

門川町国民健康保険税の税率及び税額を改正するもの。

(全員賛成・可決)

門川町花畑地区農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金徴収条例の制定

地方自治法第224条の規定に基づき、徴収する分担金について必要事項を定めるもの。

内容としては、農業用水路の更新工事を実施するにあたり、利益を受ける者から事業費に係る費用の一部を徴収するもので、その額は当該事業に要する経費から国、県の補助金の額を控除した額に一定の割合を乗じた額で徴収し、事業費に充てるものである。

(全員賛成・可決)

令和5年 第2回定例会

令和5年第2回定例会は、6月6日に開会し、13日に閉会しました。主なものは一般会計補正予算など、承認4件、条例の改正2件、条例の制定が1件、補正予算4件の11件を審議。

一般質問は、8日と9日の2日間に分けて議員10人が登壇し、避難タワー建設や選挙投票率向上についてなど計20項目の質問を行いました。(関連記事4～13頁)。

※専決処分(全員賛成・承認)

門川町町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正が令和5年3月31日付けで公布、森林環境税の導入に伴う各種改正及び申請書の様式の追加に伴う改正、上位法の条項ずれに伴う改正等を行った。

門川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和5年度の地方税法及び地方税法施行令が改正されたことに伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額、及び経済動向等を踏まえ低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置の対象となる世帯の軽減判定の見直しを行った。

令和4年度門川町一般会計補正予算(第13号)

歳入歳出それぞれ2億5,210万8千円を追加するもので、歳入は、地方交付税、町税、地方消費税交付金などを追加。また、ふるさと納税寄附金、新型コロナワクチン接種に係る事業などの交付決定により国庫支出金、分収林売払収入の確定により財産収入などを減額。歳出は公共施設等整備基金などへの積立金を追加。また、ふるさと納税事業、新型コロナウィルス対策事業、公有林管理事業をそれぞれ減額するなど、予算総額は、112億1,072万2千円となった。

令和5年度門川町一般会計補正予算(第2号)

国の施策である電力、ガス、食料品等の価格・エネルギー高騰対策としての子育て世帯への給付金事業への取り組み、及び伐採工事の支障となるため西門川地区の携帯電話の基地局の光ケーブルを6月末までに移設する必要が生じたため歳入歳出それぞれ1,634万3千円を追加した。

※専決処分とは、特別の理由がある場合に長の判断で議会の議決に代わる意思決定を行うこと。

あなたの声を町政に 一般質問 10人が登壇

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。



うおなが たかつぐ
魚永 崇貢 議員

物価高騰対策について

町長 財政的な負担を考慮して取り組む

帯状疱疹は、五十歳以上のの人に多く発症し、八十歳までに三人に一人が発症すると言われております。接種することで予防効果や症状を軽くする効果が期待されているが本町の取り組みは。

町長 予防接種法では規定されていないワクチンでの、接種費用は、全額自己負担となる。

町長 二回を必要とする不活化ワクチンの場合は、一回、二万円と接種費用が高額となるため、あきらめる方が多いと思われる。町の対応は。

町長 現在、厚生労働省の厚生科学審査会のワクチン評価に関する小委員会において、ワクチンの定期接種化に関して、期待される効果や導入年齢、費用対効果の観点において、検討が行われている。

町長 帯状疱疹ワクチンについて県の医師会から要請があることは、事実であるが、町としては、帯状疱疹ワクチンに対する助成の予定はない。引き続き国の動向を注視し、情報収集と発信に努める。

健康長寿課長

町長 令和五年度の当初予算において、「原油・原材料高対策特別貸付補助金」、四月の先決では、「低所得者の子育て世帯等の児童一人当たり五万円」を計上した。今回の二回定例会において「住民税非課税世帯一世帯当たり三万円」などの八事業で二億三千七十四万円の予算を計上した。



物価高騰対策について 世界的な物価高騰による町民の不安、施設や事業所の負担増に対する経営難の声が高まっている。町の取り組みは。

町長

町長 物価高騰対策につきましては、今後も国や県の動向を注視しながら、町民の皆様のさまざまな不安を払拭するために財政的な負担を考慮しつつ、通常業務と並行して取り組む。



▲価格高騰が気になる食料品



門川町庁舎跡地の活用は

まつもと りょういち
松本 良一 議員

町長 庁内検討委員会で協議する

町長 門川町庁舎跡地は、町の中心市街地にあり持続可能なまちづくりの観点からも重要な拠点である。

町長

町長 昨年4月に庁舎検討委員会からの答申を受けているがその後の進捗状況は。

副町長 庁舎を解体した場合、いくらかかるかと試算するもので解体を前提とするものではない。



町長 事業の進捗状況や新たな情報な様々などを方法により周知、広報に努める。

町長

町長 これまでいただいた提案や答申をもとにあらゆる活用案を検討協議する。

町長

町長 「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所として「通いの場」を推進しており、この取り組みの一つとして「認知症カフェ」がある。町内には「オレンジカフェいぶき」と「オレンジカフェ平城」があり、今年度は下納屋公民館での開設に向け準備をしている。

町長 高齢者が集える場として、各公民館単位での百歳体操やグランドゴルフ等がある。一方地域の介護予防の拠点として「通の場」オレンジカフェがある。このような場を各地区に広めていく考えは。

町長

町長 若い世代への啓発活動が必要である。中学・高校に出向き、主権者教育の出前講座を行ったかどうか。



▲オレンジカフェいぶき

町長 門川高校生に期日前投票の投票立会人に従事。門川中全生徒を対象

町長 門川高校生に期日前投票の投票立会人に従事。門川中全生徒を対象

総務課長

総務課長 応募された作品を、今後、町民ラウンジとか文化祭での展示を考えていきたい。

未来をつくる あなたの一票大切に





もりかわ はるお
森川 春夫 議員

外国人技能実習生の支援

町長 安心して暮らすための支援は重要

外国人技能実習生支援

外国人技能実習生が地域で安心して暮らしていくために、町として実習生に対する各種情報の提供や、日本語教育、地域の人たちとの交流や相談窓口の設置などの支援も必要ではないか。

町長

本町には約60人が、技能実習生として町内事業所で就業している。外国人が安心して暮らすことができるには、円滑なコミュニケーションと、社会から孤立しないようにするための支援が、大変重要であると考えている。

現在、町設置の避難誘導看板の一部を日本語と英語を併記し、ごみ分別では、多言語翻訳を進めて、英語のごみ収集カレンダーは作成済で、現在はベトナム語での作成に取り組んでいる。さらに生活情報を伝えるガイドブック等を、

検討していく。

そして、県などが中心となり、生活様式や生活に関連した日本語を学ぶ教室の開催に取り組んでいるので、事業所等を通じて町内の外国人に周知していきたい。相談窓口については、同協会の外国人住民のための生活相談窓口へのつなぎ役として支援していきたい。

宮崎大との連携事業

門川の水辺情報発信プロジェクトや、カムリウミズズメの生態行動研究と捕食者対策があり、魚図鑑の出版など、それぞれに調査研究が進められている。これらの事業の今後の展望や成果の活用についての考えを伺いたい。

町長

平成29年に宮崎大学と包括的連携に関する協定を締結し、これまで、各種の連携事業を



写真上：魚図鑑から 写真下：下敷き



行ってきた。

子どもたちに山・川・

海をつながりを知って

もらうことを目的に、昨

年度は淡水域で見られ

る魚を紹介した下敷き

を作成し、今後、児童へ

寄贈する予定。今年度

は、海の豊かさを支える

山林や清流五十鈴川を

中心とした、河川の生物

調査を行い、情報集約を

行う計画で、この調査を

通じ、山林や川のことを

理解いただき、観光客の

集客や移住定住を考え

る方々へのアピールと

なればと考えている。

カンムリウミズズメの

研究では、今年度は小中

学校での生態学習や一

般向けに利用可能

な映像制作を予定して

いる。

今後、連携事業を推

進し、本町の自然をアピ

ールしていく活動を展

開していく。



くろだ こうすけ
黒田 耕右 議員

加齢性難聴者への支援は

町長 現行の基準に基づく支援を継続

加齢性難聴者への補聴器代補助について

岡門川町で難聴者の数などを調査し、実態を把握した上で補聴器購入代の補助はできないか。

町長

国の対応を注視し、現行の助成制度基準に基づく支援を継続する。

岡実態調査に関して具体的を考えている事はあるか。

健康長寿課長

難聴に特化したアンケートだと要件が狭まるので「門川町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で数字を認識している。

岡高齢者検診で聴力検査を入れる取り組み等は検討しないのか。

健康長寿課長

検討はしてない。

岡そういった検査も導

入したら実態も分かりやすくなると思う。加齢性難聴者がいるのは事実なので、目を向けて、実態を把握し、門川町でもやれる範囲で補助していくという姿勢が大事だと思つた。

健康長寿課長

現在のところ予定はされていない。

岡現在、加齢性難聴者への補助は考えていなくて、今後も考えていかないう事か。

健康長寿課長

介護保険の対象にはならない。

岡補聴器に関しては今後も考えていかないう事か。

福祉課長

身体障害者の方は指定医師の判定のもと支給している。補聴器の購入に関しては基準と効果を見極めなければならぬ。



▲耳掛け式補聴器

岡町独自で車椅子ごと乗れるような車両を購入するのはどうか。

企画戦略課長

車1台改良するのに1千万円近くかかる。その上介護のできる運転手も必要。タクシー券発行もタクシー会社との兼ね合いもあり、現状は難しい。

岡他の自治体でも色々改善している。門川町でも新しい形で

の方法を検討しアイデアを出し合い検討していくのが大事だと思うが、民間の業者との連携等も難しいのか。

企画戦略課長

改善するべくアンケート等も検討されている。業者との連携は町内に業者はなく連携も難しい状況である。町独自の車両等も検討し調査・研究していく。



▲町内を巡回するかどっぴータクシー

町長

岡現在でも乗り合いタクシーがあるが車椅子ごと乗れないなど、不満の声も多く聞く。タクシー券の発行や、利用改善はできないか。

町長

今後の利用者ニーズの動向や財政面においても調査・研究していく。

移動困難者に対しての支援について

いわきり よしき
岩切 義樹 議員

タワー型避難施設の整備について

町長 プロジェクトチームにて再検討

岡上納屋1区から指定避難場所の下納屋西の山高台へ高齢者が徒歩により短時間で避難するのは大変困難である。海岸線や10号線の近い場所にタワー型避難施設を建設してほしいとの声があるが、公民館と複合させての建設ができないのか。

町長

実際に西の山高台まで歩いて避難し、避難に要する時間や避難時に想定されるリスク等について認識している。

また田中病院へ避難する場合にも、国道や鉄道を横断して避難する必要があること、狭い道路や老朽化住宅が多いことから、地震による家屋倒壊や道路閉塞の危険性が高いこと、そして今後地区住民の高齢化が進み、避難に要する時間の遅延化が想定される。

よってタワー型避難施設も含んだ複合型避難施設等の必要性について再検討が必要なか



▲延岡市土々呂地区のタワーと消防機庫

とを認識し、4月よりプロジェクトチームを編成、協議を始めた。また被害を最小限に抑えるためには包括的な施策が必要だと考え、兵庫県の「人と防災未来センター」と連携し、町民各自が避難計画を立てる「マイタイムライン」と呼ばれるツールの活用等について調査、研究を開始した。

副町長

本町は各地区に概ね半径500メートル以内に緊急避難場所があったが、日向市は避難困難地域が10か所あり、補助金により建設した。

岡国と県の事業を活用し日向市は10か所の避難施設が出来ているが、同じ湾内にある門川町には1か所もない。なぜもつと地元と検討して避難タワーの設置を進めなかったか。

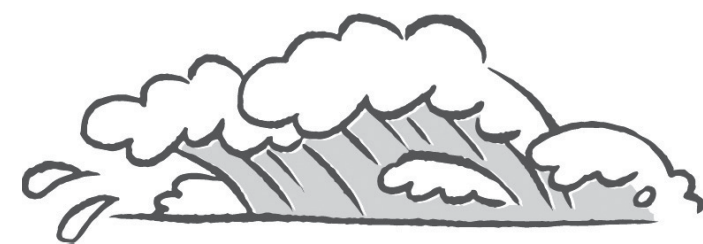


▲上納屋地区自治公民館と消防機庫

岡土々呂地区は建設費が6億以上かかったが、長浜地区は1億ほどで建設できている、早急に対応するため、自主財源で建設する考えはないか。

町長

避難施設の必要性の判断、避難施設を設置するという事になった場合の適地選定、そしてその予算をどうしていくかなども含めて今後プロジェクトチームで協議していく。



加齢性難聴者への支援は

町長 現行の基準に基づく支援を継続

加齢性難聴者への補聴器代補助について

岡門川町で難聴者の数などを調査し、実態を把握した上で補聴器購入代の補助はできないか。

町長

国の対応を注視し、現行の助成制度基準に基づく支援を継続する。

岡実態調査に関して具体的を考えている事はあるか。

健康長寿課長

難聴に特化したアンケートだと要件が狭まるので「門川町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で数字を認識している。

岡高齢者検診で聴力検査を入れる取り組み等は検討しないのか。

健康長寿課長

検討はしてない。

岡そういった検査も導

入したら実態も分かりやすくなると思う。加齢性難聴者がいるのは事実なので、目を向けて、実態を把握し、門川町でもやれる範囲で補助していくという姿勢が大事だと思つた。

健康長寿課長

現在のところ予定はされていない。

岡現在、加齢性難聴者への補助は考えていなくて、今後も考えていかないう事か。

健康長寿課長

介護保険の対象にはならない。

岡補聴器に関しては今後も考えていかないう事か。

福祉課長

身体障害者の方は指定医師の判定のもと支給している。補聴器の購入に関しては基準と効果を見極めなければならぬ。

移動困難者に対しての支援について

岡町独自で車椅子ごと乗れるような車両を購入するのはどうか。

企画戦略課長

車1台改良するのに1千万円近くかかる。その上介護のできる運転手も必要。タクシー券発行もタクシー会社との兼ね合いもあり、現状は難しい。

岡他の自治体でも色々改善している。門川町でも新しい形で

の方法を検討しアイデアを出し合い検討していくのが大事だと思うが、民間の業者との連携等も難しいのか。

企画戦略課長

改善するべくアンケート等も検討されている。業者との連携は町内に業者はなく連携も難しい状況である。町独自の車両等も検討し調査・研究していく。

▲町内を巡回するかどっぴータクシー



うつのみや 三つよし
宇都宮 三良 議員

避難タワー建設について

町長 プロジェクトチームを設置し検討

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 本町では、避難できる限界距離500m以内には一時避難場所がある状況となっており、地区によっては一時避難場所までの円滑な非難が困難な地区があることも認識している。

一時避難場所として、門川小学校及び草川小学校に屋上避難場所の設置や、中央公民館の耐震改修など依存施設を優先して整備してきた。

しかし、避難が困難な地区があり、高齢化により避難速度が遅延化するなどの課題があり、副町長をトップとした津波避難施設建設プロジェクトチームを設置し、検討していく。

エクトチームを設置し、検討していく。町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

副町長 本町からの要望はだしたことはない。ただし本町出身の県議会議員が県に対し考えてほしいとの声はあげている。

町長 納骨堂のそのような話は今までなかったが、今後は検討し研究課題としていく。現在、中学校が避難施設となっているが、今後武道館がどのような防災施設として活用できるか、今後国や県に要望をしたことはないのか。

総務課長

町長 納骨堂のそのような話は今までなかったが、今後は検討し研究課題としていく。現在、中学校が避難施設となっているが、今後武道館がどのような防災施設として活用できるか、今後国や県に要望をしたことはないのか。



▲建て直しが考えられる武道館

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。



▲夜間時に分かりづらい防火水槽

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

てらだ やすたか
寺田 泰隆 議員

武道館の現状と今後について

町長 建て替えも視野に調査・研究

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

環境水道課長

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。



▲側溝清掃

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。



▲カーテンドアの男女共用トイレ

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。

町長 町内には高台があるため避難タワーは必要ないと答弁していたが、県内にはいくつもの避難タワーが建てられている。沿岸部にある門川町に避難タワーがないのは不思議だ、なぜ避難タワーをつくらないのか。現町長の考えは。



でぐち まれとし
出口 希俊 議員

将来を見据えた 自主財源確保計画について

町長 継続して自主財源の確保に注力する

町長 門川町の財源は、自主財源が四割、依存財源が六割と依存体質の状態である。将来を見据えた自主財源確保を計画し、この状況を逸早く立て直さなければ、これから門川町を支えていく若者たちに大きな負担をかけてしまうと考えるが、町長の考えは。

町長 門川町としては、事業を進めるにあたって補助金などの財源活用が不可欠と考えるとともに、自主財源の確保が重要であるとの認識を強く持っている。今後も継続して自主財源の確保に注力していきたい。

町長 門川町スマートインターチェンジ近隣に延岡市、日向市、東臼杵郡広域連合を1チームとする道の駅を計画し、農林水産業の特産品を展示販売し、一次産業及び個人生産者の販路拡大及び、ふるさと納税制度の活性化と共に、消費者

にも魅力的な道の駅の計画を提案したいが、町長の考えは。

町長 近隣自治体と協力した道の駅建設については現時点での具体的な検討は行っておりませんので、今後の研究課題として認識して参りたい。

町長 近隣自治体と協力した道の駅建設については現時点での具体的な検討は行っておりませんので、今後の研究課題として認識して参りたい。

町長 現在進行している第6次門川町長期総合計画の中においても、働く場所や移住者の確保策等を記載しており、この点については、今後とも調査研究を進めていく。



議会だより かどがわ No.175

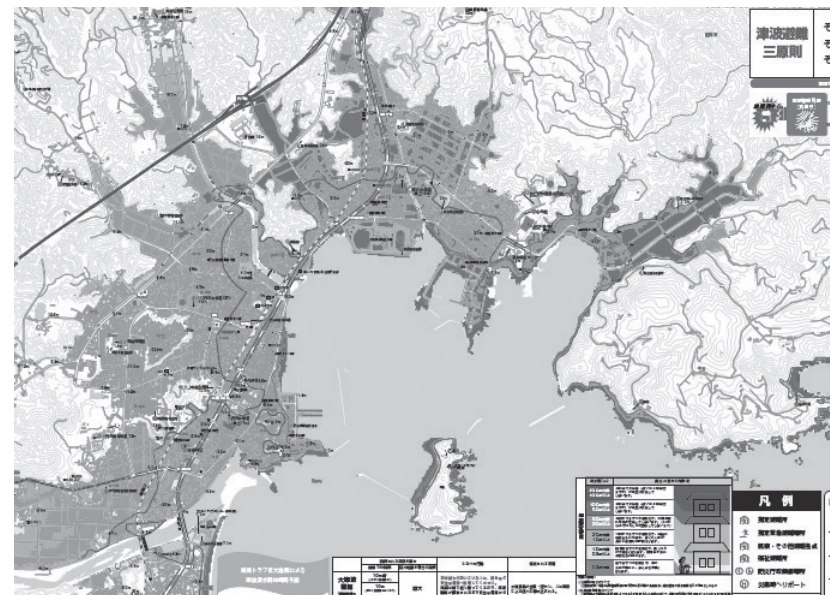
かんざき ちかこ
神崎 千香子 議員

乙島の防災力は

町長 ハザードマップは乙島を加味している



町長 門川神社の古文書によると、「明和6年に大地震があった時に、乙島で大津波を避けたので、門川村には被害がなかった。庵川村、加草村、天領日知屋、細島などは、津波のため、作物は、言うに及ばずその家屋なども大きな被害を受けたが、門川村だけは、大きな被害はなかった。」とある。



▲ハザードマップ

町長 明和日向灘地震(学術名)については、現在も調査・研究が続けられているが津波高など学術的に、明確にわかっていないのが現状だ。県へ確認したところ、門川町に設定されている津波浸水想定地域は、「乙島を地形として取り扱っ

町長 明和日向灘地震(学術名)については、現在も調査・研究が続けられているが津波高など学術的に、明確にわかっていないのが現状だ。県へ確認したところ、門川町に設定されている津波浸水想定地域は、「乙島を地形として取り扱っ

町長 明和日向灘地震(学術名)については、現在も調査・研究が続けられているが津波高など学術的に、明確にわかっていないのが現状だ。県へ確認したところ、門川町に設定されている津波浸水想定地域は、「乙島を地形として取り扱っ

町長 明和日向灘地震(学術名)については、現在も調査・研究が続けられているが津波高など学術的に、明確にわかっていないのが現状だ。県へ確認したところ、門川町に設定されている津波浸水想定地域は、「乙島を地形として取り扱っ

町長 明和日向灘地震(学術名)については、現在も調査・研究が続けられているが津波高など学術的に、明確にわかっていないのが現状だ。県へ確認したところ、門川町に設定されている津波浸水想定地域は、「乙島を地形として取り扱っ

要望活動を行いました

6月16日(金)に山室町長とともに森議長、森川産建委員長らが県日向土木事務所を訪問、道路整備等について中原所長へ要望書を提出しました。



消防操法大会が開催されました

このほど門川総合海浜公園にて令和5年門川町消防操法大会が開催されました。

当日は午前7時30分より開会式が執り行われ、消防本部を含め町内14部の消防団員が入場整列。優勝旗の返還後、操法を開始。ポンプ車の部2隊、小型ポンプ積載車の部12隊が日頃訓練した操法技術を競いました。

競技の結果、ポンプ車の部は本部、小型ポンプ搭載車の部は第5部が優勝旗を手に入れました。

閉会式では出口副議長が締めめの挨拶を行い、まちの財産と生命を守る消防団員の皆さんの活動にエールを送りました。



令和5年度常任委員会年間活動計画

《総務財政厚生常任委員会》

【テーマ】

『防災・減災力の向上で安心・安全な町づくり』
『旧庁舎跡地の有効活用について』

【活動内容】

- ①西門川地区と危険地区の現地調査
- ②自主防災組織の現状課題について
- ③非常時の避難所と避難経路の確立
- ④備品整備の実態・進捗状況の調査
- ⑤旧庁舎の再利用と取り壊しについては
決まっておらず、今後の経過を見守る。



(記:魚永)

《産業建設文教常任委員会》

【テーマ】

『アフターコロナの持続可能なまちづくり』

【活動内容】

- 調査
 - ・災害対策として五十鈴川等の現況確認
 - ・学校及び体育施設 乙島の活用現況
- 意見交換
 - ・各種団体における人材育成の課題
- 視察等
 - ・次期衛生センター建設
 - ・生活排水の状況、河川環境
 - ・心の杜の経営状況

※上記の活動を行うにあたっては、所管課及び関係先等と日程等を事前に打ち合わせし、実施していくこととする。



(記:田中)

祝！国道10号線門川日向拡幅開通

令和5年6月24日ついに国道10号線門川日向拡幅工事が完了しました。着工開始が1970年で53年にわたる大工事。実際に開通した財光寺の区間を車で走ってみると、今までにないくらいスムーズに通行できました。まさに道と笑顔が広がる歴史的な瞬間。

そんな日に立ち会えて光栄でした。これからも沢山のひとと想いを運ぶ道路になる事でしょう。



次回9月定例会の予定

9/5(火)	5日(火)	(開会)議案の上程
～	6・7日	一般質問
9/22(金)	22日(金)	議案の採決(閉会)

左記の日程で開催を予定しています。日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。

お詫びと訂正

議会だより令和5年5月号の12ページ「課設置条例の一部を改正する条例」の説明において一部間違いがありました。
(誤)【企画戦力課】 (正)【企画戦略課】
訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

6月議会も、無事に終了した中、今回は、一般質問登壇者10名と意識の高い議員が町長に意見をぶつけました。これからも町民の皆様からの要望などありましたら、どしどしお聞かせください。

議会事務局 TEL:0982-63-1140(内線2301)

(記:出口)

- 発行者／門川町議会議長 森 誠一
- 編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL(0982)63-1140
- 議会広報編集特別委員会／委員長 出口 希俊 副委員長 岩切 義樹
委員 黒田 耕右 魚永 崇貢 田中 豊和
- 印刷／有限会社 第一印刷